

(会派用)

令和8年3月31日

鹿角市議会議長 様

会派名 鹿真会・公明

代表者名 中山一男



政務活動費収支報告書

令和7年度政務活動費に係る収支について、鹿角市議会政務活動費の交付に関する規則第5条第1項の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 収入

(単位：円)

科目	金額	備考
政務活動費	370,000	月額5,000円×7人×2箇月 月額5,000円×6人×10箇月
収入合計	370,000	

2 支出

(単位：円)

科目	金額	備考
調査研究費	104,572	3/24, 25視察研修
研修費	0	
広報費	0	
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
人件費	0	
事務所費	0	
その他の経費	0	
支出合計	104,572	

3 収支差引残高

265,428 円

※ 収支報告書には、関係する領収書の原本を添付し、備考欄には主たる収入・支出の内訳を記載すること。

令和8年3月31日

調査等報告書

会派名 鹿真会・公明
代表者名 中山一男

次のとおり調査等を実施しましたので、調査等報告書を提出します。

実施年月日	令和8年3月24日から令和8年3月25日まで
調査地等	(1) 秋田県湯沢市 山葵沢地熱発電所 (2) 岩手県八幡平市 松川地熱発電所
参加者	5名
調査等内容	調査等の内容は別紙のとおり

令和7年度 鹿真会・公明 視察行程表

視察先	視察内容	期 日	日 数
湯沢地熱株式会社	「山葵地熱発電所について」	令和8年3月24日(火)～25日(水)	2日
東北自然エネルギー株式会社	「松川地熱発電所について」		

日 程	行 程	備 考
3/23 (月) 前日	<p><中山議員私用車> ※高速道路利用 ※宿泊費用は自己負担</p> <p>中山議員宅 → 鹿角八幡平 IC～滝沢 IC → 矢巾駅周辺</p>	都合により中山議員は前日矢巾まで移動
3/24 (火) 1日目	<p><館花議員私用車> ※同乗者ピックアップ ※同乗者ピックアップ</p> <p>各議員宅(館花、佐藤、児玉、田村) → 十和田 IC～矢巾スマート IC → JR矢巾駅(中山議員)</p> <p>※高速道路利用 ※朝食 ※視察 ※宿泊費(領収書別添)</p> <p>→ 矢巾 PA スマート IC～雄勝こまち IC → 道の駅こまち → <u>湯沢地熱株式会社</u> → ホテル(湯沢市)</p>	
10/3 (水) 3日目	<p><館花議員私用車> ※高速道路利用(資料別添) ※2名下車(以降中山議員私用車行程は下段に記載)</p> <p>ホテル(湯沢市) → 湯沢 IC～矢巾スマート IC → JR矢巾駅(児玉、中山)</p> <p>※高速道路利用(資料別添) ※視察 ※高速道路利用(資料別添)</p> <p>→ 矢巾スマート IC～松尾八幡平 IC → <u>松川地熱発電所</u> → 松尾八幡平 IC～十和田 IC → 各議員宅(館花、佐藤、田村)</p> <p><中山議員私用車> ※高速道路利用(資料別添)</p> <p>JR 矢巾駅(児玉、中山) → 矢巾スマート IC～鹿角八幡平 IC → 各議員宅(児玉、中山)</p>	児玉議長、中山議員ともに公務のため2日目の視察に参加せず、帰路は中山議員の私用車にて移動

会派視察報告書

鹿真会・公明 佐藤大介

【山葵沢地熱発電所】

○日 時 2026 (令和 8) 年 3 月 24 日 (火) 13:00~16:30

○場 所 (事務所) 秋田県湯沢市秋ノ宮字堰ノ口 135-4
(発電所) 秋田県湯沢市高松字大日台 131・秋ノ宮字黒沢 219

○応 対 者 湯沢地熱株式会社 取締役社長 前田知志 氏
湯沢地熱株式会社 総務部長 大滝英雄 氏

○施設概要

- ・ 運 営 主 体：湯沢地熱株式会社
※電源開発(株)、三菱マテリアル(株)、三菱ガス化学(株)の 3 社による共同出資
- ・ 運転開始日：2019 (令和元) 年 5 月 20 日
- ・ 定 格 出 力：46,199kW
- ・ 発 電 方 式：ダブルフラッシュ方式
※噴出した蒸気と熱水を 2 段階で減圧、タービンを効率的に回転
- ・ 国内では大分県の八丁原発電所などに次ぐ第 4 位の規模
- ・ 栗駒国定公園に隣接。豊かな自然環境を守るため、希少な動植物、景観に馴染む施設デザイン (アースカラーなど) に配慮。

【松川地熱発電所】

○日 時 2026 (令和 8) 年 3 月 25 日 (水) 13:00~15:00

○場 所 (展示館・発電所) 岩手県八幡平市松尾寄木

○応 対 者 東北自然エネルギー株式会社雫石事業所 所長 桑野 恭 氏

○施設概要

- ・ 運 営 主 体：東北自然エネルギー株式会社 (東北電力グループ)
- ・ 運転開始日：1966 (昭和 41) 年 10 月 8 日
- ・ 定 格 出 力：(更新後) 14,990kW (更新前) 23,500kW
- ・ 発 電 方 式：ドライスチーム方式
※乾き蒸気 (当該井は蒸気のみ噴出) を直接タービンに送り込む。国内の地熱発電所では珍しいタイプ。効率的に発電可能。

- ・ 日本初の本格的な地熱発電所で日本における地熱発電技術の原点。建設は世界でも4番目。2016（平成28）年に日本機械学会より「機械遺産」に認定。
- ・ 旧設備は60年の運転を経て老朽化により廃止。発電所のシンボルである巨大冷却塔も解体予定。2022（令和4）年から大規模な設備更新工事を実施し、2025（令和7）年11月から新設備での営業運転を再開。
- ・ 十和田八幡平国立公園内に位置。発電に使用した蒸気から抽出された熱は、周辺の松川温泉などの宿泊施設や農業用ハウスの暖房・給湯に活用。地域共生のモデルケース。
- ・ 運転開始から60年を経過しているが、現在も安定して熱源が供給されている。

【視察所管】

今回の視察においては、再生可能エネルギーの中でも単位出力が高いと考えられる「地熱発電」の可能性を探った。

メリットの第一に、地熱発電は、発電規模に比して環境負荷が極めて少ないことがあげられる。地下に賦存するマグマ起源の熱水が水蒸気に気化する際のエネルギーを利用して発電するものであるが、主成分は水蒸気であり、温室効果ガスの二酸化炭素の排出はほとんどないとされる。また、火山成分として一般的な硫黄成分は、主に匂いとして感じとることができるが、両施設においては皆無ではないものの特段強く感じられることはなかった。ただし、現実には生産井はじめ施設のパイプ等配管は経年で閉塞するとのことであるから、硫黄等は一定量混入していると思われる。また、地熱発電は「還元井」の配置で環境負荷を抑えている。エネルギーを取り出した後の水蒸気及び熱水は還元井を通して、同程度の深さまで送水される。この際、山葵沢においては特段負荷をかけることなく高低差を利用した位置エネルギーのみで還元している点は理想的である。また、松川においては還元井を設置しておらず、温泉郷にも近いという地理的特性から、温泉及び熱を資源として地域に供給しており、発電に限らず地域に副次的に貢献している。その上で余分な熱水は酸度を中和して松川に放流しているとのことであった。もともと酸性度の高い当該河川に対し環境負荷は低いとされいている。

メリットの第二に、地熱発電は、発電出力の安定性が高くベースロード電源として位置づけできることである。松川は日本初の本格的な地熱発電として運用を開始して60年以上、安定して発電を行ってきていることは特筆すべき点である。

一方で地熱発電のデメリットは、熱源はじめ地下の状態を正確に把握できないこと。

- ・ 奥羽山脈の火山活動が見られる場所の近隣を選定し開発を行ったものであるが、その場所を何メートル掘れば何にあたるのか？

- ・ 地熱貯留層にあたってそれがどれくらい続くのか？

これは誰にもわからない。そのため、地熱発電の開発事業は基本的にハイリスクである。したがって、基本的には企業資本だけでなく、FIT・FIP（固定価格買取制度）をはじめとする公的支援基盤が必須の分野であるとも考えられる。

【最後に】

本市においては既に澄川・大沼など地熱発電所が稼働しており、管理ノウハウも市内に存在している。本市にはまだまだ地熱資源は賦存すると考えられ、その上ノウハウもあり、さらにベースロード電源として位置づけられるとすれば、地熱発電のさらなる拡大は大いに期待したいと考える。

経済的活力、働く場が必要な本市にとっても、再生可能エネルギーを底上げしたい、そして、原発由来放射性廃棄物貯留の限界に近い我が国にとっても、地熱は大変重要な資源である。

会派視察報告書

1 湯沢地熱株式会社 わさび沢地熱発電所

視察先 湯沢地熱株式会社 わさび沢地熱発電所

視察日 令和8年3月24日

場所 秋田県湯沢市秋ノ宮字堰の口 135-4

対応者 湯沢地熱株式会社 総務部 大滝氏

視察者 鹿角市議会 会派 鹿真会・公明

児玉悦朗、佐藤大介、館花一仁、田村富男、中山一男

1 視察の目的

本視察は、再生可能エネルギーの中でも安定したベースロード電源として期待される地熱発電について、その事業概要、設備構成、運用体制、環境保全対策、地域との関わりなどを学び、本市における今後のエネルギー政策および地域振興施策の参考とすることを目的として実施した。

2 施設の概要

わさび沢地熱発電所は、湯沢市秋ノ宮地区に立地する地熱発電施設であり、定格出力は46,199kWと国内でも有数の規模を有している。2015年に着工し、2019年5月に営業運転を開始した。特徴として、わさび沢側で蒸気・熱水を生産し、秋の宮側で還元する方式を採用しており、生産井と還元井を地理的に離隔配置することで、地下資源の持続的活用を図っている。また、発電後の熱水・凝縮水を全量地下へ戻すクローズドループ方式を採用していることも大きな特色である。発電電力は専用送電線により横堀変電所まで約18km送電されている。

3 視察内容

視察では、地熱発電の仕組み、主要設備の構成、井戸配置の考え方、送電設備、運用体制、環境モニタリングなどについて説明を受けた。地下から得られる混相流体は気水分離機で蒸気と熱水に分けられ、蒸気はタービン発電に利用されるほか、熱水からも二次蒸気を取り出し

て活用している。発電後の凝縮水や熱水は熱水ピットを経て還元井に戻される仕組みとなっており、資源循環を重視した運用がなされていた。井戸は生産井・還元井ともに7本を保有し、各6本が稼働しているとのことであった。さらに、還元配管については、保温や流速維持などの対策により、操業開始から現在まで大きな閉塞は発生していないとの説明があった。

また、運用面では、発電所は無人運転を基本とし、遠隔監視とスマートフォンによるアラーム対応により管理されていた。平時は社員13名、協力会社常駐約8名の体制で運営し、定期点検時には最大約200名規模となるなど、安定運転に向けた体制が整えられていた。環境面では、工事中の騒音・振動・排水対策に加え、周辺温泉への影響を確認するため、2009年から月1回の水質モニタリングを継続し、その結果を温泉事業者と共有しているとのことであった。こうした継続的な情報共有は、地域との信頼関係を築く上でも重要な取組であると感じた。

一方で、近年は物価、人件費、資材費の上昇により、建設費や維持費が従来よりも大きく増加する懸念が示されており、地熱開発においては技術的課題だけでなく、事業採算性の確保も大きな課題であることがうかがえた。

4 所感

今回の視察を通じて、地熱発電は天候に左右されにくい安定電源であり、地域におけるエネルギーの自立性向上に資する有力な手段であることを改めて認識した。特に、わさび沢地熱発電所では、生産井と還元井を分けて配置する高度な設計、全量還元による資源循環、豪雪地帯に対応した設備管理、周辺温泉への継続的なモニタリングなど、長期安定運転を実現するための工夫が随所に見られた。

また、本事業は単に発電を行うだけでなく、固定資産税等の税収確保、地域電力との連携、地元調達の推進など、地域経済との結び付きも意識されていた。一方で、掘削リスク、貯留層管理、規制対応、送電設備の維持、FIT後を見据えた採算性の問題など、事業継続には多面的な課題があることも理解できた。

5 本市への示唆

本市において再生可能エネルギーの導入や地域資源の活用を進めるにあたっては、発電規模や経済効果だけでなく、地域住民の理解、自然環境との調和、長期的な維持管理体制、事業採算性の見通しなどを総合的に検討する必要がある。特に地熱のような地下資源を活用する事業では、地域との信頼関係を丁寧に築くこと、環境モニタリングを継続すること、そして持続可能な運用体制を確立することが不可欠であると感じた。今回の視察で得た知見は、本市の今後のエネルギー政策や脱炭素施策を考える上で、大変有意義なものでありました。

2 松川地熱発電所

視察先 松川地熱発電所
視察日 令和8年3月25日
場所 岩手県八幡平市松尾寄木地内
対応者 東北自然エネルギー株式会社 桑野所長
視察者 鹿角市議会 会派 鹿真会・公明
佐藤大介、館花一仁、田村富男

1 視察の目的

本視察は、我が国の地熱発電の先進事例である松川地熱発電所を訪問し、その歴史、設備の特徴、井戸の維持管理、地域への熱供給の取組、環境対策、広報・観光との連携の実情を学ぶことで、本市における再生可能エネルギー政策および地域資源活用の参考とすることを目的として実施した。

2 施設の概要

松川地熱発電所は、1966年に運転を開始した我が国を代表する地熱発電所であり、長年にわたり安定した運転実績を積み重ねてきた。特徴は、地下の貯留層から蒸気のみを産出する点にあり、熱水処理設備を必要としない比較的簡素な構成となっている。近年では2024年12月に新たな発電設備へ更新され、旧設備の一部も見学可能な形で残され

ている。また、自然公園内に立地することから、設備の色彩にも景観への配慮がなされていた。さらに、発電のみならず、温水を地域に供給し、生活・福祉・農業分野で活用されていることも大きな特色である。

3 視察内容


視察では、地熱発電の仕組み、掘削の難しさ、井戸の維持管理、地域への温水供給、水質管理、PR館の運営などについて説明を受けた。松川では、蒸気のみを産出するため設備構成は比較的簡素である一方、掘削対象が火山性の硬い岩盤であり、かつ高温環境下での作業となるため、装置の消耗が大きく、費用と時間を要するとのことであった。また、地下構造の不確実性が高く、蒸気を得られる地点の推定には過去のデータと経験知が大きく影響することから、地熱開発には高度な知見と長年の蓄積が必要であることを学んだ。

井戸の維持管理については、長期運用の中で腐食や閉塞が生じるため、掘り直しや深部拡張等の対応を行い、おおむね5年に1本程度の更新サイクルで維持しているとの説明があった。現在は約6本が稼働しており、地熱発電は建設後も継続的な資源管理と設備更新が不可欠であることを実感した。

また、松川地熱発電所の特徴的な取組として、地域への温水供給が挙げられる。発電所から引き渡された温水は、八幡平市側の第三セクターが管理する送水設備を通じて、ホテル、病院、老人ホーム、農業ハウスなどへ供給されており、地域の暮らしや産業に幅広く活用されていた。送水距離は最大約10kmに及び、発電所側で60～70℃、受け側で約50℃となるものの、ボイラー利用より安価で、住民負担の軽減にも寄与しているとの説明があった。

環境面では、余剰温水を河川へ放流する際に、pHと温度を調整し、環境基準に適合させた上で処理していること、水質は酸性から中性付近ないし弱アルカリ性へ調整していることなどが示された。さらに、PR館は毎年4月10日から11月まで無料開館され、地域学習や観光振興にも活用されており、地熱発電を単なるエネルギー供給施設としてではなく、地域に開かれた資源として位置付けている点が印象的であった。

2026. 3. 3 /

館花 一仁 

鹿真会・公明 会派視察報告
視察先:湯沢地熱発電山葵沢発電
月日:2026、3、24
報告者:児玉悦朗

○目的

山葵沢発電は定格出力46199kWで国内3番目規模。その特徴は生産井と還元井を地理的に隔離し全量還元を採用している。創業7年で還元配管の閉塞は未発生、送電は東北電力の変電所へ送電している。日本の地熱発電では最先端の技術であり鹿角地域での可能性と環境への影響を探る。

○視察内容

事務所内で事業の概要説明を受けた後現地で視察を行った。

場所は山葵沢の山腹にあり国有地でもあるため鍵がかかったゲートを通り現地に向かった。生産井(地中深くに存在する地熱の熱水や蒸気、その混合物を取り出すための井戸)、気水分離機(生産井で取り出した高温の流体を気水分離器で高圧蒸気と熱水に分離し高圧蒸気はタービンに、熱水は減圧気化器に送る)、減圧気化器(気水分離器で分離された熱水はまだ約150°Cほどの温度があることから減圧気化器で再び低圧蒸気を発生させタービンに送る)、タービン・発電機(気水分離器と減圧気化器で分離された蒸気をタービンに当て発電機を回して電気を作る)、復水器(タービンを回した後の蒸気を冷却して凝縮水に戻す)、冷却塔(復水器から送られてくる温水を冷たい空気と接触させ温度を下げ冷却水へとかえる)、温水ピット、還元配管(発電に使用した熱水を地中深くへと戻すための井戸)などの主要施設を実地見聞した。

外見は大きな建屋が数棟あり、湯気が噴き出ているわけでもなく音も騒音も少なく静かな外観であった。井戸は1500~2000mを7本掘削し今だに閉塞未発生なのは驚きでした。汲み上げるのは蒸気であり地上でタービンを回した後は冷却し地下に戻す事で地下水の枯渇は心配無いとの説明でした。また周辺の地域住民からのクレームの中に水質の変化など環境の変化に関するものはなかったと説明を受けました。現実には地下深くの様子は誰もわかっていませので今後どのようなことが表れてくのか注意深くモニタリングを行い事象の変化に注意を払う事が必要と感じてまいりました。

発電所は無人運転で遠隔監視、麓(秋の宮)に社員が配置されアラームはスマホ通知で対応していた。

冬季間も毎日施設への点検などで往復するため山道の除雪は欠かさず行うとの説明がありました。

全国的な調査により地熱発電に適した地域は既に判明していて八幡平地域も有力な場所になっている。地熱発電の潜在的なポテンシャルはあるものの事業展開は事業者の決断によるが、本市での事業の可能性を大きく感じた視察であった。

鹿真会・公明会派視察の結果について（報告）

去る3月24日(月)から25日(火)までの2日間行政視察を行いました。その概要について、次のとおり報告します。

令和8年3月27日

鹿角市議会議長

児玉悦朗様

視察者

鹿角市議会 会派 鹿真会・公明

中山一男

(概要)

- 1 実施日 令和8年3月24(火)～25日(水) 2日間
- 2 視察先 秋田県湯沢市秋ノ宮字堰の口135の4
「湯沢地熱株式会社 わさび沢地熱発電所」
- 3 視察者 会派 鹿真会・公明 会長ほか4名
- 4 調査事項
 - ・ 地熱発電の概要、運営体制、環境保全対策、市との関わり等を学びながら、今後予想される風力発電への対応を含めエネルギー政策や地域振興策(活性化)の参考にする。
- 5 概要 視察内容につきましては、他の委員より報告があると思うので、省略します。
また、私は、25日の例月出納監査があり、午後の視察は同行しませんでしたので、初日の視察「わさび沢地熱発電所」の所感を述べます。
- 6 所感 今回の視察で、自然の力を利用した地域資源による、地域の活性化や経済の発展を図る考え方、一方では、自然を破壊する等の理由で反対する考え方などがあるが、ここで検討しなければならないのが、固定資産税等の収入の確保、鹿角パワー(地域電力)との連携、修理、環境保全等における地域経済との関連性、一方、自然環境との調和、事業の発展性(将来性)等、総合的に検討する必要がある。
今回の本市における風力発電の建設事業に対して、景観を損ねる等の理由に反対する者、この疲弊した本市の経済の発展を望む理由などによる賛成者など意見が大きく分かれるところであるが、地域との信頼関係を丁寧に築き押し

進めることが肝要である。

その中において、昨今、若者の働き場所を求め、企業誘致に力を入れているが、なかなか進出する企業が無い中で、企業自らが進出しようとしていることは、ありがたいことであり、チャンスとして捉えたい。

なぜか、一つの企業の進出により、今後、風力発電事業ばかりでなく、その企業の関連する共同体の進出も出現する可能性も秘めており、私は、明るい兆しであると捉える。

山葵沢地熱発電所と松川地熱発電所の2ヶ所を視察させていただきました。

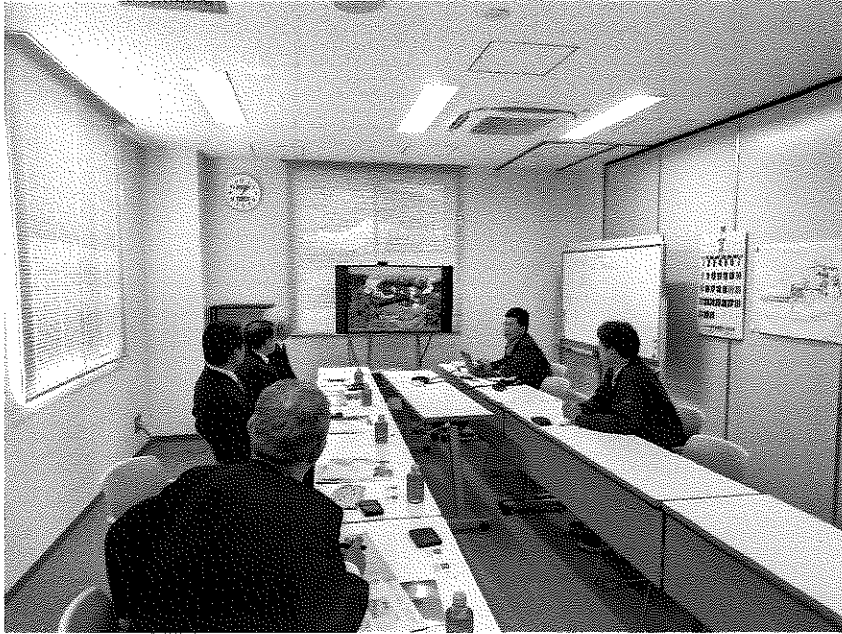
地元、八幡平にも地熱発電所がありますが、いつも通り過ぎるだけで見学したこともなく、全くの勉強不足で猛省しております。

いずれも、地域貢献と同時に脱二酸化炭素2050に向け、大変期待のできる取組みを実施されていることが印象的でした。

特に松川地熱発電所においては、地域との連携への力の入れ方に非常に感嘆しました。

今後、鹿角市においても地熱発電所が増設され活用が進む中で、地元への貢献、発展に多いに期待したいと思います！

鹿真会・公明 田村富男



湯沢地熱(株)事務所会議室内



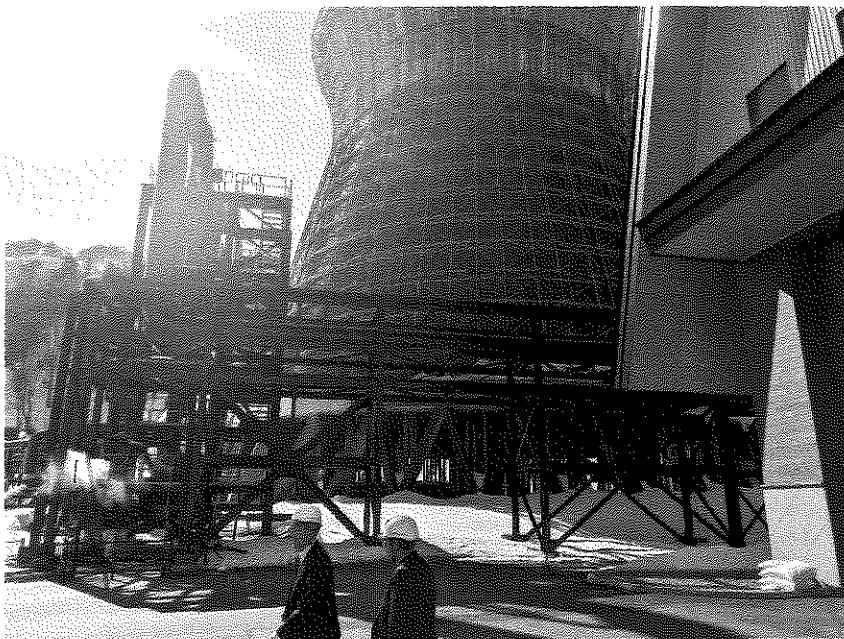
山葵沢地熱発電 施設



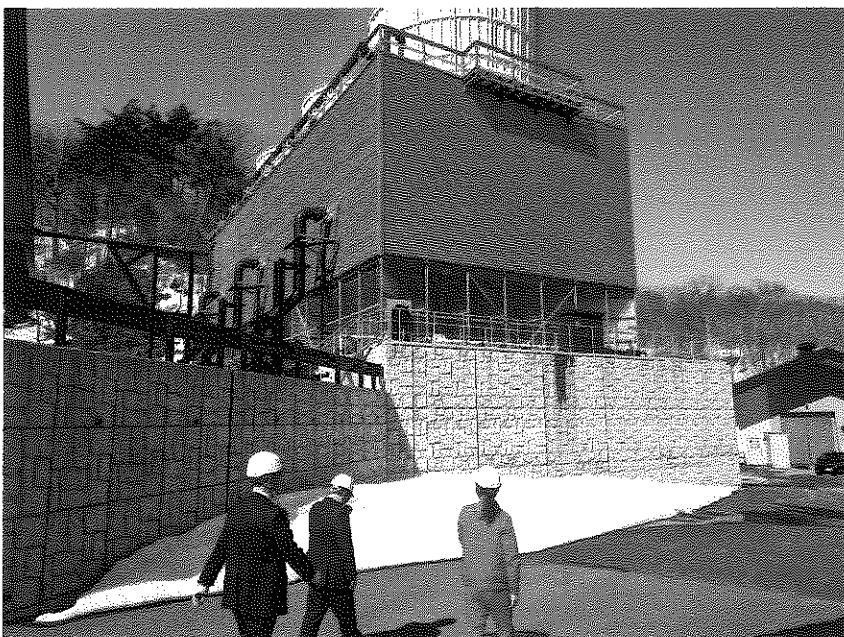
冷却塔



松川地熱発電所展示館 説明



松川地熱 旧冷却塔



新冷却塔

領収書等整理表

(令和 7 年度報告分)

科 目	調査研究費
整理番号	1
領収書等貼付欄	<div style="text-align: center;">  <p>道の駅かづの あんどらあ</p> <p>TEL:0186-22-0555</p> <p>売店 〒018-5201 鹿角市花輪字新田町11-4</p> <p>2026年 3月23日(月) 13:25 No:0002</p> <p>0400000001180 1011大直利 大 単2,415 × 2個 ※ ¥4,830</p> <p>0400000000817 1022紙袋 単50 × 2個 ¥100</p> <p>小 計 ¥4,930 内税8%対象額 8.00% ¥4,830 内税8% 8.00% ¥357 内税10%対象額 10.00% ¥100 内税10% 10.00% ¥9 合 計 ¥4,930 (内消費税等 ¥366)</p> <p>d払い ¥4,930 (消費税等 ¥366)</p>  <p>A2026032300024348A</p> <p>キャリア側取引ID 61258497712</p> <hr/> <p>株式会社 かつの観光物産公社 登録番号：T7410001006568 ※は軽減税率対象商品 □は免税事業者の軽減税率商品 ■は免税事業者の標準税率商品</p> <p>責No:00000002:木村 取引No4348 4点買</p> </div>
領 収 書 等 添付合計金額	4,930円

※ 貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。

この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。

領収書等整理表

(令和7年度報告分)

科 目	調査研究費			
整理番号	2-1			
領収書等貼付欄				
館花議員私用車分				
期日	行程	距離(km)	距離×37(円)	高速道路料金(円)
3月24日	館花宅	12	444	
	佐藤宅	4	148	
	児玉宅	6	222	
	田村宅	3	111	
	十和田IC～矢巾スマートIC	95	3,515	2,900
	JR矢巾駅	2	74	
	矢巾スマートIC～雄勝こまちIC	120	4,440	3,070
	国道13号～108号	8	296	
	湯沢地熱発電所		0	
	国道108号～13号	20	740	
	湯沢グランドホテル		0	
3月25日	湯沢グランドホテル	3	111	
	湯沢IC～矢巾スマートIC	105	3,885	3070
	JR矢巾駅	2	74	
	矢巾スマートIC～松尾八幡平IC	45	1,665	1,260
	県道45号ほか	15	555	
	県道23号～212号	20	740	
	松川地熱発電所		0	
	県道212号～23号～45号	17	629	
	松尾八幡平IC～十和田IC	62	2,294	1,810
	田村宅	3	111	
	佐藤宅	8	296	
館花宅	12	444		
(合計)		562	20,794	12,110
			①	②
高速道路料金資料別添				
領収書等 添付合計金額	① + ② 32,904円			

※ 貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。
この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。

ご利用ありがとうございます。

利用証明書



NEXCO 東日本
NEXCO 東日本お客様センター
0570-024-024
登録番号：T9010001095716

料金所(自) 秋田北
料金所(至) 琴丘森岳本線
26年 2月14日 17時56分
割引前料金 ¥1,570-
割引 ¥470-

通行料金 ¥1,100-

(ETC/レゾ) 車種 1

※通行料金の消費税率は10%です。

取扱番号

A34602-140324-175533

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

019

ご利用ありがとうございます。

利用証明書



料金所(自) 矢巾スマート
料金所(至) 松尾八幡平
26年 3月25日 11時 6分

通行料金 ¥1,260-

(ETC/レゾ) 車種 1

※通行料金の消費税率は10%です。

※通行料金は確定しておりません。

取扱番号

A18603-252787-188226

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

ご利用ありがとうございます。

利用証明書



NEXCO 東日本
NEXCO 東日本お客様センター
0570-024-024
登録番号：T9010001095716

料金所(自) 鹿角八幡平
料金所(至) 大鰐弘前
26年 2月23日 9時27分

通行料金 ¥1,600-

(ETC/レゾ) 車種 1

※通行料金の消費税率は10%です。

取扱番号

A35602-235376-025136

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

ご利用ありがとうございます。

利用証明書



料金所(自) 松尾八幡平
料金所(至) 十和田
26年 3月25日 16時 5分

通行料金 ¥1,810-

(ETC/レゾ) 車種 1

※通行料金の消費税率は10%です。

※通行料金は確定しておりません。

取扱番号

A18603-252802-250423

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

ご利用ありがとうございます。

利用証明書



NEXCO 東日本
NEXCO 東日本お客様センター
0570-024-024
登録番号：T9010001095716

料金所(自) 十和田
料金所(至) 矢巾スマート
26年 3月24日 9時43分

通行料金 ¥2,900-

(ETC/レゾ) 車種 1

※通行料金の消費税率は10%です。

※通行料金は確定しておりません。

取扱番号

A17603-241978-162522

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

ご利用ありがとうございます。

利用証明書



NEXCO 東日本
NEXCO 東日本お客様センター
0570-024-024
登録番号：T9010001095716

料金所(自) 矢巾スマート
料金所(至) 十文字本線
26年 3月24日 11時11分

通行料金 ¥3,070-

(ETC/レゾ) 車種 1

※通行料金の消費税率は10%です。

※通行料金は確定しておりません。

取扱番号

A17603-241985-092126

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

ご利用ありがとうございます。

利用証明書



NEXCO 東日本
NEXCO 東日本お客様センター
0570-024-024
登録番号：T9010001095716

料金所(自) 十文字本線
料金所(至) 矢巾スマート
26年 3月25日 10時 8分

通行料金 ¥3,070-

(ETC/レゾ) 車種 1

※通行料金の消費税率は10%です。

※通行料金は確定しておりません。

取扱番号

A18603-252783-962129

※本利用証明書はETC利用照会サービスで印字されたものです。

領収書等整理表

(令和7年度報告分)

科目	調査研究費
整理番号	3
領収書等貼付欄	

No. 68430-2

領収証

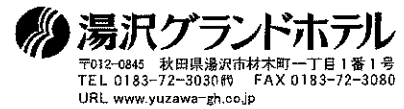
お名前 (Name)

RECEIPT

鹿真会・公明

様

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
		54,400
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		54,400



事業者登録番号: T9-4100-0100-5485

発行月日 (Issue)
2026/03/25

収
入
印
紙
26.3.25

(課税対象 (10%) 54,400)
(内消費税 (10%) 4,945)

※明細は別添

領収書等 添付合計金額	54,400円
----------------	---------

※ 貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。
この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。

No. 68430-1

ご利用明細請求書

Description



お名前(Name)

鹿真会・公明

様

事業者登録番号:T9-4100-0100-5485

お部屋 Room	ご到着日 Arrival	泊数 Nights	ご出発日 Departure	人数 Persons	発行日 Issue	担当 Clerk	ページ Page
523	2026/03/24	1	2026/03/25	5	2026/03/25	和賀	1

日付 Date	お部屋 Room	ご利用明細 Description	単価 Unitprice	数量 QTY	金額 Charges	入金 Payment		
03/24	523	ツイン(1名利用)	9,680	1	9,680			
		レストランご利用(2211)	1,200	1	1,200			
	524	ツイン(1名利用)	9,680	1	9,680			
		レストランご利用(2211)	1,200	1	1,200			
	525	ツイン(1名利用)	9,680	1	9,680			
		レストランご利用(2211)	1,200	1	1,200			
	526	ツイン(1名利用)	9,680	1	9,680			
		レストランご利用(2211)	1,200	1	1,200			
	527	ツイン(1名利用)	9,680	1	9,680			
		レストランご利用(2211)	1,200	1	1,200			
	--利用日計--						54,400	
	523	クレジット						54,400
		10%対象					54,400	
	ご署名 Signature						ご利用合計 Total	ご請求額 Balance
会社名 Firm					次ページ繰越	次ページ繰越		

No. 68430-1

領収証

お名前 (Name)

RECEIPT

鹿真会・公明

様



事業者登録番号:T9-4100-0100-5485

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		次ページ繰越

発行月日 (Issue)

2026/03/25

収入
印紙